

## 地方創生関連交付金の対象事業について

H29.11 札幌市

### H29 年度地方創生推進交付金 <1/2 国費> 【H29 年度から 3 年間実施】

#### 「さっぽろ圏」若者定着促進広域連携事業 <道と共同申請>

国費 37,000 千円（北海道 2,997 千円）

企業向けの採用力や人材育成に係るセミナー等の開催、若年層早期離職予防のための研修を実施するほか、若年層向けの職場実習の実施や、女性向けセミナー等を実施。

#### 健康医療関連産業の活性化と集積促進事業 <単独申請>

国費 41,474 千円

最先端のがん遺伝子研究・バイオバンクを活用した臨床研究開発の拠点形成、新事業創出等の検討を行うほか、産学官ネットワークを活かした地域のシーズと国内外のニーズの掘り起こし・マッチングの強化、知見ある支援者の招聘による研究・企業・人材の育成などを実施する。また、地域産業の活性化を図るため、市内バイオ企業の販路拡大・連携促進を目的とした道外・海外展示商談会の場を提供する。

#### 先端技術導入や利活用促進の取組による IT 産業活性化事業 <単独申請>

国費 29,710 千円

IoT や AI 等先端技術を活用した実証事業を行うことで市内 IT 企業を育成するほか、最新の IT 技術の発信の場の創出や IT 技術者の育成等を行う。また、地域の稼ぐ力として IT 産業を成長させるべく、他産業企業との連携による製品・サービスの創出や販路拡大への支援を行う。

#### 広域・官民連携によるインバウンド促進事業 <単独申請>

国費 20,525 千円

海外富裕層の需要拡大のため、全国の魅力ある観光地と連携し、集中的なプロモーションを展開する。また、民間事業者と連携して札幌の観光の魅力を磨き上げるとともに、歴史文化やウィンタースポーツなどと連動した誘致活動を展開することで、海外ターゲット国観光客の特性に応じた誘致活動を展開する。

### 地方創生拠点整備交付金 <1/2 国費> 【H29 年度実施（単年度）】

#### ICT を活用したアイヌ文化発信の空間整備事業 <単独申請>

国費 41,000 千円

地下鉄さっぽろ駅連絡通路に、通行人や観光客など多様な人が滞留・交流でき、新たな手法でアイヌ文化を発信する「ステーションミュージアム」を整備し、これまでの移動の通過点ではなく、アイヌ文化発信の導入口として、様々な情報が得られる空間を形成するとともに、ビッグデータなど先端技術を活用する。

## H28 年度地方創生推進交付金 <1/2 国費> 【H28 年度から 3 年間実施】

東京発「北海道暮らし」の魅力創造・発信事業<道と共同申請> ※市事業は単年度のみ  
国費 27,007 千円（北海道 85,326 千円）

「共生（CCRC の推進）」、「産業（健康産業の振興）」、「教育（ICT による遠隔授業）」の視点から、北海道の独自性や優位性を最大限に発揮し、若者、現役世代、アクティブシニア、障がい者など幅広い方々をターゲットに首都圏等からの移住・交流の促進を図る。

海外拠点連携によるアジアマーケットの開拓促進<道と共同申請>

国費 25,000 千円（北海道 50,000 千円）

北海道と札幌市、金融機関等が連携し、それぞれの海外拠点を活用しながら「海外展開プラットフォーム」を構築し、中国や A S E A N をはじめとした海外への道内企業の進出支援や、外国資本の投資促進のために、プロモーション事業やニーズ調査等を実施する。

首都圏連携による地方送客を含めた戦略的な MICE 誘致<単独申請>

国費 25,000 千円

小樽市やニセコ町・倶知安町と地域間で共同開発する観光メニューの提供など、地域特性を最大限に発揮した M I C E 誘致活動を展開するとともに、東京での国際会議開催時に、アフターコンベンションとして札幌市の観光モデルコースを紹介するほか、「日本新三大夜景」に選定された観光都市が協働し、相互の魅力で地方送客を図る。

スマート地下空間形成によるビジネス創出事業<単独申請>

国費 14,500 千円

札幌都心の地下空間にビーコンやカメラ等のセンサーを設置し、人流・属性情報を収集・集積するとともに、ビッグデータとして分析・活用できる環境を整備することで、個々の属性に応じた情報を発信するほか、課題解決や新商品開発に結びつけるなど、テストマーケティングの場としても有効な「スマート地下空間」として、観光振興・販売促進・市民サービスの向上など様々な分野の付加価値を高める。

## 地方創生加速化交付金 <全額国費> 【H28 年度実施（単年度）】

「さっぽろ圏」若者定着促進広域連携事業<道と 6 自治体との共同申請>

国費 59,500 千円（北海道 96,141 千円）

官民協働による若者定着促進協議会を設置し、各地域の特性を踏まえた取組を実施するとともに、圏域で横展開を図る「若者定着プラン」を策定

札幌市では、東京に新設する UIJ ターン就職の支援窓口を活用し、首都圏の学生や I T 人材と、市内企業の結びつけなどの取組を担う。

なでしこ応援・女性の活躍推進事業<道との共同申請>

国費 12,700 千円（北海道 39,854 千円）

北海道と連携し、女性のライフステージに応じた就労継続・再就職や、企業における女性活躍推進のための環境整備を支援し、全道に波及できるモデル事例を創出・発信